

2017年度 ソ教連北海道ブロック社会福祉教育セミナー

ソーシャルワーク専門職養成教育のこれからをどう構想するか —ソ教連北海道ブロックの目指すべき方向性と展望—

【開催趣旨】

少子高齢化と人口減少が進む現代において、国民の福祉ニーズは多様化・複雑化・高度化し、その対応策として今日では地域包括ケアシステム／地域共生社会の構築に向けた施策が検討・実施されている。そこででの中心的構想の1つが「総合的・包括的相談支援体制の構築」であり、キーワードとして「ソーシャルワーク機能」の必要性・重要性が指摘されている。

しかしながら、「ソーシャルワーク専門職」への社会的期待は必ずしも高まっているとはいえない状況にある。むしろ、日本における社会福祉・ソーシャルワークの教育・実践は、社会からその存在意義と有用性を厳しく問われているといっても過言ではない。また、福祉系大学等への進路希望者の減少は、単に18歳人口の動向に起因しているわけではなく、社会福祉・ソーシャルワークを学ぶことの魅力を十分に提示・発信しきれていない現状の反映とも考えられ、養成校および実践現場は、現在、今後の社会福祉・ソーシャルワーク教育・実践の行く末を決める重要な岐路に立たされている。

このような厳しい社会情勢において、社会福祉・ソーシャルワーク教育の新しい段階を切り拓き、社会への情報発信力をより高めることを念頭に、全国レベルでは関係旧3団体が統合し、2017年4月に「(一社)日本ソーシャルワーク教育学校連盟」が誕生した。その動きに合わせ、北海道においても従来からの2団体(北海道社会福祉実習研究協議会・日本社会福祉士養成校協会北海道ブロック・日本社会福祉教育学校連盟北海道ブロック／北海道精神保健福祉士養成校協会)が統合し、「日本ソーシャルワーク教育学校連盟北海道ブロック」を設立することとなった。

以上を踏まえ、2017年度の北海道ブロック社会福祉教育セミナーでは、「ソ教連北海道ブロック」として新たにスタートするにあたり、養成校と実践現場(職能団体)それぞれの立場から、ソーシャルワーク専門職養成教育の今後のあり方について、当団体の目指すべき方向性と展望とも絡めながら考えたい。

日 時：2017年11月4日(土) 9:30～11:50 ※受付9:00～

※第47回「全国社会福祉教育セミナー」(12:45開始)の一部として開催

場 所：北星学園大学(C館401教室)

参加費：無 料

申 込：2017年10月30日(月)まで

その他：当日参加も可能ですが、資料準備の関係上、別紙にて事前参加申し込みにご協力のほどよろしくをお願いいたします。

【プログラム】

司 会：一戸 真由美（専門学校北海道福祉大学校）

9：00 受 付

9：30 開 会／開会挨拶

9：35 シンポジウム

テーマ：「ソーシャルワーク専門職養成教育のこれからのをどう構想するか—ソ教連北海道ブロックの目指すべき方向性と展望—」

○コーディネーター

伊藤 新一郎（ソ教連道ブロック会長／北星学園大学）

養成校発題テーマ「ソーシャルワーク専門職養成教育の現在とこれから」

発題① 社会福祉士養成教育の立場から

畑 亮 輔（ソ教連道ブロック副会長／北星学園大学）

発題② 精神保健福祉士養成教育の立場から

橋本 菊次郎（ソ教連道ブロック副会長／北翔大学）

職能団体発題テーマ「実践現場からのソーシャルワーク専門職養成教育への期待・要望」

発題③（公社）北海道社会福祉士会

長濱 章雄（障がい者支援施設 希望学園）

発題④（一社）北海道医療ソーシャルワーカー協会

橋本 恭尚（医療法人尚仁会 真栄病院）

発題⑤（一社）北海道精神保健福祉士協会

佐々木 寛（地域生活支援センター・ハート釧路）

11：05 休 憩

11：15 フロアからの質問・意見交換

11：50 閉 会

○ソ教連北海道ブロック加盟校担当者（教員）・職能団体担当者は、シンポジウム終了後、同会場で開催される「日本ソーシャルワーク教育学校連盟北海道ブロック設立総会」へご出席ください。